



萩原珈琲ジャーナル

神戸市役所
127番地での挑戦
Kobe City Hall Challenge at 127

2021 summer

TAKE FREE

サンドウィッチダービー

ああ、大好きなサンドが脱落しちゃう…

神戸市産食材をふんだんに使用した、サンドウィッチ達の生き残りかけた戦い。

毎月食べられた数をカウントし、サンドの消費を可視化。最下位のサンドウィッチは、翌月新メニューに入れ替わる仕組み。



野菜・果物・お肉・パン・お米など、神戸の食材を使っています。

※ 天候などにより変わることがございます。



食品廃棄ゼロメーター

食品廃棄ゼロメーター

食品廃棄ゼロメーターを設置。

食品廃棄ゼロメーターを設置。食品廃棄ゼロ日数を日めくり式で、店頭およびSNSで可視化。簡単、シンプルな取り組みで、気になる、数字を増やしたいという、食品廃棄削減の動機のきっかけ作りに。同時に、TABETE(食品ロス削減アプリ)に登録し、さらに食品の廃棄をゼロへの仕組みを進めています。

カフェから、新しい市役所ロビーの使い方を提案。

多世代が市役所に自然に滞留する、集う市役所ロビー。



多世代が市役所に自然に滞留する、集う市役所ロビー。

週末ブックカフェ、絵本カフェ、子育て応援、ぬり絵カフェなどの、小さな仕掛けを通じて、違和感なく多世代が憩う。結果、カフェを利用することで、神戸市産食材を認知したり、食品廃棄削減を意識し始めたり。

※詳細は「萩原ジャーナルVol.4」をご覧ください。

そんな自然の関わりから、私たちの目指す環境に配慮した、食の循環型経済を実現します。

色々な仕掛けに「ゲーム性」を取り入れ、気が付いたら、お客様が仕組みに関わっている。参加している。結果、地産地消を促進、食品廃棄を削減し、環境に配慮した地域経済循環を目指します。